議　　題

教育関係部課長会議

議題１　水泳授業の実施状況（民間委託等）について（一宮市提出）

【要旨】当市では、学校プールの老朽化により修繕等にかかる費用が年々増加する中、今後の水泳授業について検討しています。そこで、各市の状況をご教示ください。

（１）小中学校の水泳授業の実施状況

①自校プールで実施

②民間事業者のプールで実施

③水泳授業を廃止

①～③について、小中学校それぞれの校数を記載してください。

記入例：小学校①△校/〇校、②×校/〇校、③なし

中学校①〇校/〇校、②・③なし

（２）水泳授業を委託している場合、児童生徒１人当たりの指導料

（３）水泳授業を委託する上で、１校当たりの総額や１人当たりにかかる費用等、財政面で判断基準を設けているか。

→「設けている」場合は、その基準を記載

議題２　学校施設の目的外使用で体育館空調設備を使用する場合の使用料等について（一宮市提出）

【要旨】当市では今年度、一部の中学校の体育館に空調を整備予定ですが、学校施設の目的外使用の際の空調の使用方法や使用料について検討しているところです。そこで、各市の状況についてご教示ください。

（１）空調（スポットクーラーを除く。）を設置している体育館の場合、目的外使用での空調利用の可否

→利用可の場合、使用料の額、積算根拠、支払方法を記載

議題３　私立高等学校等授業料補助金について（豊田市、安城市提出）

【要旨】本市においては、私立高等学校等に在籍する者の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等の原則を確保するため、国や県の制度に上乗せする形で授業料補助金を交付しています。

国において、所得制限の撤廃や私立高校等の加算額の引き上げ等が検討されている中で、各市の状況をご教示ください。

（１）市独自の私立高等学校等授業料補助金を交付しているか。

→交付している場合は、以下（２）以降を回答

（２）令和６年度の支給要件（所得要件）と交付額（※）

（３）令和７年度の支給要件（所得要件）と交付額（※）

（４）私立学校の就学支援金が増額となった場合の令和８年度以降の運用の方針（基準の変更、補助金自体の廃止等）

※条例、規則等で定められている一人当たりの交付額。所得要件等で複数ある場合は、要件毎に分けて記入してください。

議題４　後援等の基準について（安城市提出）

【要旨】本市においては、要綱により後援等の基準を定めているが、運用する際の対応について苦慮しています。本来は、各事業の内容について精査をし、教育的見地から推奨するものに対して後援をすべきですが、実務上全件を精査をすることが難しく、「断る理由」がなければ後援をしてしまっている状況です。

また、学校にチラシを配布するために後援申請をするケースも多く、配布をする教員の負担増にも繋がっています。

そこで、今後の対応の参考とするため、各市の状況・対応についてご教示ください。

（１）令和６年度の承認件数と不承認件数（取り下げを含む）

（２）営利目的が疑われるが、事業者に営利性を否定されるケースの対応

例：プログラミング教室、スポーツ教室、マネー教室等の「体験会」等のイベントにおいて、教室への勧誘等が疑われるため事業者に確認をすると「勧誘はしない」と回答があるが、実際に勧誘をしていないかの確認はとれず承認している。

（３）事業自体は問題ないが、「教育的見地」から推奨するものか疑問が残るケースの対応

例：子育て、福祉、商工関係のイベント等において、疑問が残るものの承認している。

（４）チラシに協賛企業等が多数掲載されているケースの対応

議題５　学校施設の長寿命化改修の実施方法について（高浜市提出）

【要旨】本市では、現在、複数の学校で長寿命化改修の設計及び工事を実施しています。主な工事内容としては、校舎・屋内運動場の全面改修、EV 棟の増築、単独校調理場の増改築、屋外トイレの増築などがあり、特に校舎の全面改修に関しては、内装材や、家具、学校間仕切りの更新に合わせて設備の更新も行っているため、設計内容が膨大かつ、工期が長期化しています。

また、学校施設環境改善交付金を補正予算にて交付を受けていることから、工期も厳しい状況であるため、入札不調を防ぐ観点から、建築、電気、機械を一括発注しています。そのため事業が長期化し、学校現場や監督職員への負担、財政負担が大きくなっていることから、今後の長寿命化改修のあり方の見直しを検討しています。

そこで、各市町の長寿命化改修の実施方法についてご教示ください。

（１）長寿命化改修の設計及び工事の有無

→有の場合（２）から（５）を回答

※複数の設計及び工事がある場合は事業規模の大きいものについて回答

（２）設計業務の執行方法（基本設計・実施設計・設計精査の発注方法及び履行期間）

→「すべてを一括発注」の場合、単年または複数年（○か年）を記載

→「それぞれを個別に発注」の場合、各設計合わせて単年または各設計が単年でトータル複数年（○か年）を記載

（３）工事の執行方法

①仮設校舎リースの有無

→有の場合、契約方法を記載

（例：リース会社と契約、工事の設計に含め、工事請負業者と契約）

→無の場合、設備を含んだ内部改修をどのように実施しているか記載

（例：夏休み集中型。内部改修は、塗替え程度で、配線配管類は未改修）

②工事監理業務委託の有無

→有の場合、契約方法

（例：指名競争入札、複数年契約）

（４）複数年工事の契約方法（建築・電気設備・機械設備等）

①入札方法

→分離発注の場合：長寿命化改良事業（繰越事業）で建築・電気設備・機械設備のうち、いずれかが入札不調になり工事が進められない場合、どのように対応しているかを記載

（例：再入札を行い、かつ、交付金対象事業を縮小して行う。）

②契約期間

→単年契約の場合：年度ごとに請負業者が異なる場合、仕上材を前年度工事で使用した材料を指定しているかを記載

（５）長寿命化改修の交付金対象工事内容について、これまで実施、又はこれから予定している各工事の内容を記載してください。

①建築工事

工事の対象箇所を記載

（例：内装仕上げ材・建具等すべて更新、塗り替え程度、劣化状況に応じて判断）

②電気設備工事

工事の対象箇所を記載

（例：機器・配線すべて更新、機器のみ更新、劣化状況に応じて判断）

③機械設備工事

工事の対象箇所を記載

（例：機器・配線すべて更新、機器のみ更新、機器の更新・配管をライニング工法等で改修、劣化状況に応じて判断）

議題６　物価高騰に伴う学校給食費の改定について（高浜市提出）

【要旨】高浜市では、令和７年度より学校給食会計を公会計化し、給食費は歳入予算、食材費は歳出予算として管理しています。

（給食費は各学校が徴収し、市に納入する方式。食材費は市が業者と単価契約し、代金を支払う方式。）

給食費単価については、令和５年度に値上げを行い、現在も保護者負担としていますが、近年の物価高騰により、保護者負担額以上の支出が発生し、不足分は市が補助しています。今後は国の無償化の動向にもよるところですが、給食費単価の値上げを検討しています。

そこで、各市町の給食費の状況についてご教示ください。

（１）調理場の形式と校数

（２）１食当たりの給食単価

※交付金などの活用を除く

（３）（２）の単価に改定した時期、改定を決定した時期

（４）（２）の単価に値上げ前の価格

（５）今後給食費を改定する予定の有無

→「有」「検討中」と回答した場合、予定している実施時期と金額

（６）現在の単価に改定した積算根拠

（７）公費での補助の有無

→「有」もしくは「検討中」と回答した場合、公費負担の開始時期と内容

※交付金などの活用を除く

（８）現在、給食の栄養価の不足の有無（不足：基準の 90％未満）

→「有」と回答した場合は不足の内容を記載

（９）その他に給食費、給食食材購入等において、検討していることや懸念されていること等

議題７　スクールバス及び小中学校水泳授業バス送迎の運用について

（田原市提出）

【要旨】田原市では、学校統廃合のため遠距離通学となった児童・生徒の通学のため、スクールバスの運行を事業者に委託しています。

統廃合から５年以内は「へき地児童生徒援助費等補助金」が活用できますが、６年目以降は利用できる補助制度がなく、委託料の全額を市費で負担する運用となっており、今後も統廃合が進んだ場合、さらなる費用負担が懸念されます。

また、令和４年度から、小中学校の水泳授業の集約化及び民間プール活用の実証実施を行っており、学校からプールまでの児童・生徒の移動手段として、同様にプール送迎バスの運行を委託していますが、こちらについても全額、市費で対応している状況です。

今後のスクールバス等の運用について参考とさせていただきたく、各市の状況をご教示ください。

（１）スクールバス等運行の有無及び運用方法

→有の場合：運用方法を記載

（２）市費以外の予算措置の有無

→有の場合：予算措置について記載

（３）課題等